高等学校　保健体育科学習指導案（科目体育）

【学校番号　○○番】

種目ごとに『学習指導要領解説』を確認して具体的に記載する。

この授業はｐ63　『Ｅ球技　ア　ゴール型』を参考にしている。

「○○できるようにする。」

 　　 千葉県立○○○○高等学校

教　諭　　○　○　○　○

１　日時　　　平成○○年○○月○○日（○）○時限

２　学級　　　１年○・○組　男子○○名

３　学級観　　　運動部に所属している生徒を中心に技能の向上を目指し、コミュニケーションを取りながら活動することができるが、課題として、自ら考えて行動することが苦手である。

４　単元名　　Ｅ　球技　　　ア「ゴール型」　サッカー

５　単元目標

　○技能　　　ボール操作で、味方が操作しやすいパスを送ることができ、ボールをもたない動きで、パスを出した後に次のパスを受ける動きができるようにする。

　○態度　　　ルールやマナーを守るだけでなく、相手の素晴らしいプレイを認めたり、相手を尊重したりするなどの行動を通して、フェアなプレイを大切にすることをできるようにする。

　○知識、思考・判断

**知識について、**サッカーを通して、敏捷性、スピード、脚の筋力などの体力要素を高め、特にシュートへの瞬発的な筋力が必要であることを理解できるようにする。

**思考・判断について、**サッカーを継続して楽しむための自己に適した関わり方を見付けることができるようにする。

６　評価規準

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 技能 | 知識・理解 |
| 学習活動に即した評価規準『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』を参考に、目標と関連づけて具体的な規準を指導者が考える。「○○している。」、技能は「○○できる。」 | ①自他の健康・安全を確保している②自己の責任を果たし、**互いに助け合い教え合おうとしている**　③サッカーの学習に自主的に取り組み、**フェアなプレイを大切にしようとしている**　　 | ①作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための適切な関わり方を見付けている　　　　②仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している**③サッカーを継続して楽しむための自己に適した関わり方を見付けている** | ①ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きができる　　**②ボール操作では、味方が操作しやすいパスを送ることができ、ボールをもたない動きでは、パスを出した後に次のパスを受ける動きができる** | ①**サッカーに関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている**②運動観察の方法について、理解した　　ことを言ったり書　　き出したりしている　 |

７　指導計画

味方が操作しやすいパスをおくることができる

　　（1）学習課題の確認　個人技能の定着、基本的な練習方法

　　（2）個人技能中心でチーム練習する

　　（3）ボールをもたない動き

具体的な目標に向かって、1時間毎に計画をする。

　　（4）ポイントやわかったことを教え合う

　　（5）全体の場でよい動きを共有

　　（6）練習方法を示した資料を確認

パスを出した後に、次のパスが受ける動きができる

　　（7）学習課題の確認　個人とチームの課題、チームでお互いのポイントを教え合う　………本時

　　（8）練習の場所の工夫、作戦・戦術・ゲーム

　　（9）個人やチームの目標に従って練習する

　　　 (10) ボールをもたない動きをポジションごとやチームの目標にあった練習の設定

８　本時の目標（７時間目／１０）

単元目標と関連づけて、具体的に目標を設定する。目標の中で、特にこの時間の評価に関連付けるものに◎をする。

○ボールをもたない動きで、パスを出した後に次のパスを受ける動きができるようにする（技能）

○サッカーの学習に自主的に取り組み、フェアなプレイを大切にすることをできるようにする（態度）

**◎サッカーを継続して楽しむための自己に適した関わり方を見付けることができるようにする**

（知識、思考・判断）

９　本時の学習展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | 学習内容と学習活動 | 学習活動の支援・指導上の留意点・評価 |
| 導入（５分） | 挨拶、自他の健康状態の確認準備運動 | ・安全確認、健康状態確認・本時の説明・体育委員の指示で、準備運動実施 |
| 展開（４０分）＊仲間の動きと連動しながら、ボールをつなぎ合いコミュニケーションを取りながらボールコントロールしよう | 1 ウォーミングアップ・ドリブル競争・リフティングの回数記録2 パスワーク競争（２人）スタート・ゴール（ルール）・全てのコーンのゴールにパスを通過させる・チーム全員がゴールを 通過したら終了 | 　　　人人数により、４カ所以上の場所を確保　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ＊チーム技能に応じて相手役を３名設定し、ポジションを意識して動きを止めずにボールを回すことを目指そう＊今日の練習の成果で仲間に対して積極的に声を掛け合いながらミニゲームをすすめ、必要に応じてゲームを止めて確認しよう | 3 ポジション別パスからシュート（ルール）・チームでポジションを決める・役割（ポジション）毎にパスを自ら考えてシュートにつなげる４ ゲーム一人がゲームの外で指示をし、必要に応じてゲームを止めて、気づいた点の動きを確認する学習活動に即した評価規準の「思考・判断」の③をこの場面で評価する。1単位時間で1から２回の評価回数（１から２観点が目安） | ※指導【技能②】　　　　　　　●　　　　　・指導者はミニゲームを観察しながら、ゲームを止めて、チームに適した関わり方をした生徒に賞賛し、観察する　★評価【思考・判断③】 |
| まとめ（５分） | ・整理運動、ストレッチ ・本時のまとめ・目標に対する活動の評価・学習カードの記入 ・自他の健康状態の確認・挨拶  | ・ポジションを意識して、広く位置をとることでゲームがやり易くなり、連携が図れることを確認する・ゲーム中の役割（ポジション）を個人が意識することでパスが円滑になることに気づかせる・怪我の有無や健康状態の確認 |